

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)

【公表番号】特表 2010-538540 (P2010-538540A)

【公表日】平成 22 年 12 月 9 日 (2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報 2010-049

【出願番号】特願 2010-522998 (P2010-522998)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 8 日 (2011.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

供給電圧によって駆動される R F 回路であって、
R F 入力信号を受信し、R F 出力信号を生成するように動作可能な電力増幅器と、
前記 R F 出力信号の電力を示す検出器信号を生成するように動作可能な検出器と、
供給電圧が規定の閾値を下回る低供給電圧状態を示すオフセット信号を生成するように
動作可能なオフセット・ユニットと

を備え、

前記 R F 出力信号の電力は、少なくとも部分的には制御信号によって制御され、前記制御信号は、前記検出器信号と前記オフセット信号との組み合わせによって決定される、R F 回路。

【請求項 2】

前記 R F 回路は、前記低供給電圧状態を示すオフセット信号に応答して R F 出力信号の電力を減少させるように制御信号を調整する、請求項 1 に記載の R F 回路。

【請求項 3】

前記オフセット信号の大きさは前記規定の閾値と前記供給電圧との間の差の大きさを示し、前記制御信号は前記検出器信号と前記オフセット信号との和を含む、請求項 2 に記載の R F 回路。

【請求項 4】

前記 R F 入力信号を生成するように動作可能であり、前記制御信号を受信するように構成される送信機をさらに備え、前記送信機は、前記低供給電圧状態を反映する前記制御信号に
応答して前記 R F 入力信号の電力を減少させるように構成される、請求項 1 に記載の R F 回路。

【請求項 5】

前記検出器信号は前記 R F 出力信号の電力とともに変化し、前記オフセット信号は公称電圧と前記供給電圧との間の差の大きさとともに変化し、前記制御信号は前記検出器信号及び前記オフセット信号の和とともに変化する、請求項 1 に記載の R F 回路。

【請求項 6】

前記検出器信号は、前記 R F 出力信号の電力とともに対数的に変化する電流信号であり、前記オフセット信号は、前記公称電圧と前記供給電圧との間の差の大きさとともに線形

的に変化する電流信号である、請求項 5 に記載の R F 回路。

【請求項 7】

前記供給電圧は電池電圧によって決定され、前記オフセット信号は実際の電池電圧と公称上の電池電圧との間の差とともに変化する、請求項 5 に記載の R F 回路。

【請求項 8】

前記オフセット・ユニットは、低供給電圧状態の検出に応答して制御電流を増加させるように動作可能である、請求項 5 に記載の R F 回路。

【請求項 9】

前記オフセット・ユニットは、制御電流を増加させて、移動体用グローバル・システム通信 (G S M) G S M 進化型高速データレート (E D G E) 規格の隣接チャネル電力比 (A C P R) および誤差ベクトル振幅 (E V M) 要件との適合を確実にするのに十分な程度に前記 R F 出力信号を低減するように動作可能である、請求項 5 に記載の R F 回路。